



10/16 創立50周年の節目を迎えました

開運町内会の創立50周年記念式典・祝賀会が標茶町社会福祉センターで行われました。

会場には会員や来賓など約80人が出席し、先人が築いてきた50年の歴史を振り返るとともに、安心・安全なまちづくりのため、開運町内会のさらなる発展に向けて決意を新たにしました。



10/21 エゾシカ被害防止のために

エゾシカ食害の防止のために、役場で狩猟免許出前教室を開催しました。教室では、ワナや猟銃などを使用する際には狩猟免許が必要であることを説明し、関係法律の説明や道具に触ったりして理解を深めました。



10/29 TPP交渉参加反対を訴えました

例外なき関税撤廃と各国の制度・基準の変更を強いる環太平洋連携協定（TPP）交渉の参加反対を行う「暮らしを守る！標茶町民集会」がコンベンションホールういずで開かれ、町民約200人が交渉参加の反対を訴えました。同集会は標茶町農協、標茶町町内会・地域会連絡協議会、標茶消費者協会、町商工会が実行委員会を組織し、地域や町民の生活・産業を守るために標茶町からメッセージを発信することを目的に行われました。



10/8・10 みんな元気に走りました

ファミリーマラソンが町内8会場で行われ、多くの方がゴールに向かって一生懸命走りました。



10/28 ふるさと給食を実施しました

釧路管内の食材を使った料理「ふるさと給食」が町内の全小中学校で行われ、標茶町産ブランド牛の「星空の黒牛」と弟子屈町産のタマネギとジャガイモ、釧路町産のニンジンを使用した「星空のハヤシライス」が提供されました。児童らは新鮮で美味しい地元食材を使った給食に舌鼓を打ちました。



10/28 「支え合う」大切さを学びました

塘路小中学校は、同校体育館で「ふれあい体験講座」を開きました。

この講座は外部講師を招いて毎年開いており、今回で6回目の開催。今年度は「いのちを支え合う」をテーマに社会福祉協議会のボランティアコーディネーターを講師に招き、車いす介助などの体験を通じて利用者と介助者の双方の理解を深めました。児童たちは車いすで段差を降りる場合、ひと声かけるなど、気を配る重要性を実感しました。

写真…(有)茅沼総合農園
大道貞夫社長



10/19 (有)茅沼総合農園は、特別養護老人ホームやすらぎ園と町立病院に同農園で栽培した大根100本を寄贈してくださいました。



10/15 (株)吉岡組のみなさんが地域貢献活動として、シロンド排水路管理用道路の整備をしてくださいました。この活動には南標茶地区排水路維持管理組合のみなさんも参加して行われました。シロンド排水路管理用道路はトラクターなど大型農耕機の走行によりわだちが発生していましたが、作業員は全体が平らになるように仕上げた後、タイヤローラーで転圧しました。

ありがとうがムンパレからまわす

11/5 沢田建設株式会社（釧路市）のみなさんが地域貢献活動としてコッタロ湿原展望台から二本松付近（通称）までの道道を清掃してくださいました。



11/8 「酪農のまちしべちゃ」をPRしました

標茶の魅力と牛乳の消費拡大を呼びかけるため、標茶町酪農振興会連合会のみなさんが三越札幌店前で、標茶の牛から搾られた生乳100%の「しべちゃ牛乳」や飲むヨーグルト「プリティア」の試飲、観光パンフレットやTPP参加反対を訴えるチラシやティッシュを配布しました。「しべちゃ牛乳」を飲んだ方は「さっぱりしている」「あっさりして美味しい」「近くで売ってあれば毎日飲みたい」との感想が聞かれ、会員は手応えを感じていました。



10/30 「安心・安全なまちづくり」のために

標茶町町内会・地域会連絡協議会主催の研修会が開発センターで行われました。東日本大震災の発生に伴い、町民の防災に対する関心が高まっていることから、自主防災組織の立ち上げとその役割について町民が理解を深め、今後の災害対策に役立てることを目的に開かれました。現在町内で自主防災組織を立ち上げている町内会・地域会は5組織のみとなっており、そのうち塘路振興会、開運町内会、虹別市街町内会の3組織より、自主防災組織の立ち上げについて、現在の運営体制や今後の課題などの事例発表がありました。参加された町民からは活発な質問や意見が出されました。



まちをきれいにしました

「自然の番人宣言」第5回不法投棄クリーン作戦が道道厚岸標茶線と上茶安別国有林内で行われました。現場には洗濯機やブラウン管テレビなどが捨てられており、合計2,180kgのごみを回収しました。

10/29